

# 下野市洪水ハザードマップを改訂しました

市の洪水想定区域を示した「洪水ハザードマップ」を改訂しました。

これまでの思川と黒川、姿川、田川、鬼怒川、田川放水路に加え、県が新たに見直しを行った新川、武名瀬川、江川の浸水想定区域（想定最大規模）も掲載しました。

自分の住んでいる地域を確認し、いざというときに備えましょう。

## 洪水ハザードマップとは

洪水ハザードマップは、市内で洪水が発生する可能性と、実際に発生した場合に予想される浸水予想を示しています。

台風や大雨による万が一の洪水の際にいち早く安全な場所に避難していただき、被害を最小限に抑えることを目的として作成しています。



鮮やかな黄色の表紙が目印

しもつけワイズ 問2 オンラインマラソンに参加するために必要なアプリは？ ① M A T T A ② T A T T A ③ S U W A T T A

## 改訂した主なポイント

### 縮尺サイズを大きくしました

縮尺を2万2,000分の1から1万5,000分の1に拡大し、これまでより見やすくしました。

### A4版冊子タイプで保存しやすく

これまでは1枚のマップでしたが、保存しやすい冊子の形式にしました。ご家族が手に取りやすい場所で保存してください。

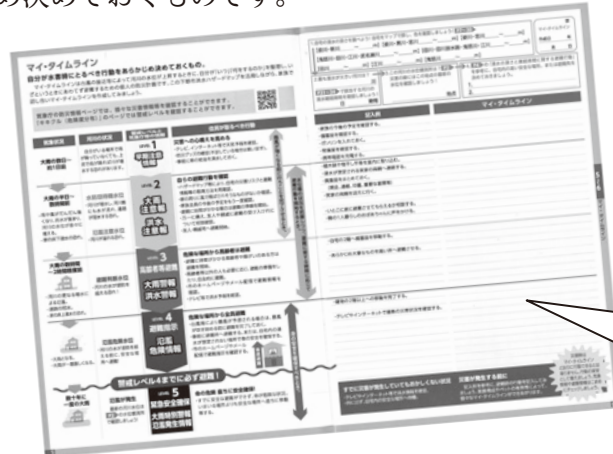
### 防災ガイドブックを掲載

洪水の要因と注意点やマイ・タイムライン、日ごろの災害の備え、避難所での注意点、情報の伝達と入手先など、災害に備えるためのガイドブックを掲載しています。

## マイ・タイムラインを作成しよう

### マイ・タイムラインは個人の「防災計画」です

マイ・タイムラインは、自分が水害時に取るべき行動をあらかじめ決めておくものです。



家族で確認しながら、どのような準備や行動が必要か話し合いましょう。

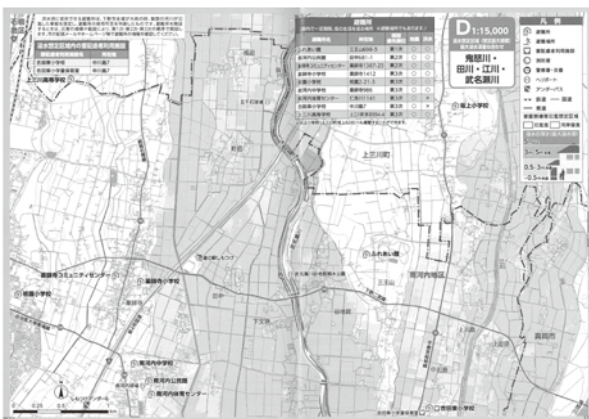
決めたことを書き込んでおきましょう。

## 田川、江川、鬼怒川を見やすく

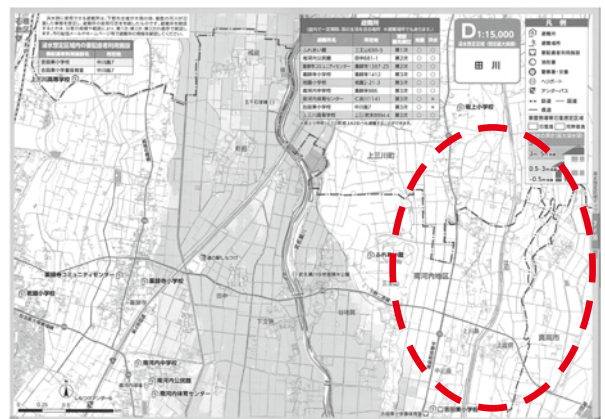
### 河川ごとのマップを掲載しました

田川、田川放水路、鬼怒川、江川、武名瀬川の浸水想定区域の最大浸水深を重ねたマップのほかに、田川、江川、鬼怒川ごとのマップも掲載しました。

それぞれの河川が越水した場合の浸水エリアを確認しておきましょう。



すべて重ねた場合



田川のみの場合浸水エリアが少なくなります。

9月中旬に、自治体などを經由して各戸に配布しました。安全安心課の窓口や公民館、図書館などに置いてあるほか、市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。



■問い合わせ先  
安全安心課 ☎(32)8894